



園芸作物栽培に関する

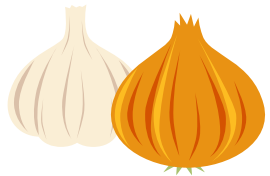
これからの対策

Q & A

◎越冬野菜の追肥と今後の管理

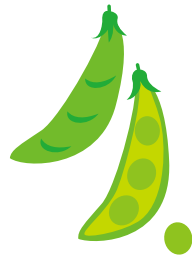
タマネギ・ニンニク

寒さに強いが、多湿には弱いので圃場の排水を徹底してください。2月下旬になったらそろそろ水を3〜4kg/1aを施用し中耕をおこなってください。



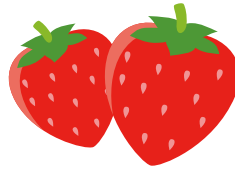
ホウレン・ランマン

冷たい風から守られると生育が停滞してしまいますので北風の強い場所では風よけを考慮してください。融雪後、そろそろ水を1.5〜2kg/1aを施用し中耕をおこなってください。直播きしたホウレン草は、一ヶ所あたり生育の良い苗を2本程度にすくっておきまじょう。草丈が20cm程度で支柱を立ててください。



イチゴ

越冬後、赤くなった下葉は取り除き、シマンダイセン水和剤等の殺菌剤を散布してください。マルチ栽培の場合は、基本的に追肥は行いませんが、生育が弱い場合は液肥を与えまじょう。露地の場合は、そろそろ追肥は2kg/1aを施用してください。



春先の追肥として有機質肥料や油粕、ホカシ肥料等は効きが遅いので向きません。

◎ホウレン草のべと病

べと病は湿気が高く、空気が停滞していると発生します。対策としては、抵抗性のある品種を使用することが大切ですが、すでに抵抗性のない品種を播種している場合は、ハウスの湿度をできるだけ低下させることが重要です。

①抵抗性品種を使用する。(トラッドフ、クロノスなど)

②窒素成分をやり過ぎない。(畜糞堆肥の多用は窒素過剰になりやすいので注意してください。)

③密植栽培を行わない。(株内の蒸れが発病を促進させます。)

④ハウスの湿度を低下させる。(畝面が湿っている圃場では灌水しない。晴天日は換気してください。)

実害が少ないので気にされないケースが殆どですがカブでもべと病が発生します。発生がひどくなると、病原菌が根の中に黒い斑点を生じさせ商品価値を低下させます。防除としてはランマンフロアブル(収穫3日前までの登録)があります。べと病は小松菜や春菊にも発生しますが、いずれも多湿が原因となりますので多湿には気を付けてください。



ホウレン草のべと病

べと病防除剤	Zボルドー	ランマンフロアブル
ホウレン草	○規制無	○3日前まで
コマツナ	○規制無	△3日前まで
春菊	○規制無	×
カブ	○規制無	○3日前まで

△は他の病気で登録あり

よく洗浄してから作業を続けください。

③圃場準備
排水の良い場所で、トマトやナスと連作にならない圃場を選んでください。毎年、そのか病の発生についての問合せがありますが、基本的にケイフンや石灰を多く施用しないでください。農薬としてはネビジン粉剤やフロンスサイド粉剤等があります。病気の発生を軽減する効果がありますが、菌の密度が高い圃場ですと防除しきれませんので、圃場に余裕がある場合は、場所を変えるのが一番です。



ジャガイモのそうか病

◎果樹の管理

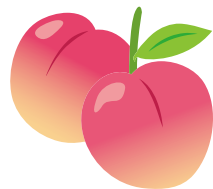
果樹は生育の止まっている冬の間に剪定、防除をしましょう。まだ剪定をしていない果樹は2月中頃までに行ってください。

①枝が込み入っていると風通しが悪くなり、病気も発生しやすくなるので枝をすかすように切り落とすしてください。

②木の内側に向かって伸びている枝を切り落とす。

③長く伸びた枝は半分位に切り落とす。切断面が1田玉以上になる場合は、切り口にトップジンMペーストを塗ると治癒が早くなります。梅やモモ等は前年に伸びた枝に実がなるので、切りすぎるとう実が少なくなるので注意してください。

④前年の秋に肥料を施用していない場合は、雪解け後、ケイフン等を幹から1〜1.5mほど離れた場所にリング状に施用してください。



◎ジャガイモの準備

①浴光催芽

浴光催芽とは植付け前に、しっかりとした芽を出しておくことで種イモの腐りによる欠株を回避でき、早い萌芽と揃った生育が期待できる技術です。方法は、植付け予定の1か月前に温度が15〜20℃程度を確保できる場所で、日光が差し込む場所(納屋や2階の部屋の窓際)になるべく重ねずに並べます。温度が高い場所は乾きすぎたり、黒変したりするので避けてください。この状態で3〜4週間する(3〜5mmの紫黒色のしっかりとした芽が出ます。植付け前のこの芽を2〜3個程度残すように掻き落として植えれば、定植後に芽をすくへる手間も省けます。

②種イモの切断

植付け前に種イモを切断し、切り口に灰や石灰をまぶす方が見られます。基本としては、植付け時に切り口は乾いていなければいけません。その際には、1週間前までに切断し、切り口に何も付けない状態で乾燥させることが望ましいです。なお、種イモで50g程度までの小さなイモは切断せずにそのまま使ってください。

種イモの切断作業中に、腐りや黒変、褐変イモを切った場合は、刃物を

お問合せ先



東部ふれあいセンター内
営農生活課 担当: 高橋
TEL.0778-51-8004

バックナンバーはJAたんなんホームページ
<http://ja.tannan.com/> 広報誌をご覧ください。